

# 吉田あかねと 素敵な仲間たち VOL.6



R.シューマン | R.Schumann

ピアノ五重奏曲

変ホ長調 作品44

Piano quintet Es dur Op.44

C.サン=サーンス | C.Saint-Saëns

ピアノ五重奏曲

イ短調 作品14

Piano quintet a moll Op.14

ピアノ  
吉田あかね

ヴァイオリン  
長原幸太

ヴァイオリン  
猶井悠樹

ヴィオラ  
鈴木康浩

チェロ  
奥泉貴圭

2/4 2024 日

14:00 開演  
(13:30 開場)

東京オペラシティ  
リサイタルホール

チケット発売日 10月1日(日)

全席自由

前売券 4,000円 / 当日券 4,500円

<https://t.pia.jp> Pコード:243-895

[主催] オフィシャルージュ [後援] 学校法人九州学園 福岡女子短期大学／ヤマハミュージック 福岡店 [協賛] 一般社団法人ビトウイン・ミュージック・タイズ／ひびきメンタルクリニック  
[お問い合わせ] オフィシャルージュ TEL 080-1715-1833 MAIL office.chat.rouge@gmail.com

チケット  
ぴあ



## 吉田あかね ピアノ



福岡市出身。3歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部を共に首席で卒業、星野内桃華楽堂での御前演奏会に出演。NTTドコモより奨学金を授与され、パリ国立高等音楽院研究課程へ進学。第42回全日本学生音楽コンクール福岡大会小学校の部第1位、第44回中学校の部第2位。第12回桐田高弘賞ピアノコンクールにて準桐田高弘賞(第3位)、第2回「シェルニー・ステファンスカ国際ピアノコンクール」にて第5位、第22回飯塚新人音楽コンクールにて大賞など、幼少の頃より数々のコンクール入賞を重ねる。桐朋学園在学中よりマスタークラスにも多数参加、又、数々の演奏会に出演。第111回TJ演連推薦新人演奏会にて、黒岩英臣指揮九州交響楽団とショーマンのピアノコンチェルトを共演。その他ソロリサイタルはじめ、2006年より毎年、九州交響楽団の首席奏者と共にシェーベルト作曲ピアノ五重奏曲「ます」の演奏会に出演、2013年より読売日本交響楽団コンサートマスター長原幸太氏、ソロ・ヴィオラ奏者鈴木康浩氏などと共に「吉田あかねと素敵な仲間たち」を企画。又、2022年度からは新たなプロジェクトとして、主に福岡・九州で活躍する演奏家をゲストとして招いた「吉田あかねの気ままに室内楽♪」を立ち上げるなど室内楽にも意欲的に取り組み、同時に後進の指導にも力を入れている。現在、福岡女子短期大学准教授として学生の指導にあたる傍ら、後進の育成、各種演奏会、九州交響楽団客演奏者・公式伴奏員、コンクール審査員など多岐にわたり活動している。これまでに、淀川郁子、中村順子、故・有賀和子、ジャック・ルヴィエの各氏に師事。

## 長原幸太 ヴァイオリン

KOTA NAGAHARA



1981年、広島県呉市に生まれる。東京芸術大学附属音楽高等学校を卒業後、同大学に進学。その間に全額スカラシップを受け、ジュリアード音楽院に留学。1992年、93年、連続して全日本学生音楽コンクール全国第1位。1994年、第6回ヴィニエアフスキイ国際ヴァイオリンコンクール

17歳以下の部第3位。1998年、第67回日本音楽コンクール最年少優勝。レウカディア賞、鶴見賞、黒柳賞を受賞。五嶋みどりレクチャーコンサートにて奨励賞受賞、ニューヨークに招かれ、同氏のレッスンを受ける。また、サイトウ・キネン若い音楽家の為の勉強会にて、小澤征爾指揮のもと、ソリストやコンサートマスターを務め、サイトウ・キネン・オーケストラにも最年少参加。12歳で東京交響楽団と共に演奏したのを皮切りに、日本各地の主要オーケストラ、小澤征爾、故・豊城宏之、秋山和慶、ゲルハルト・ボッセ等の名指揮者と共に演奏。ソリスト以外にも、室内楽奏者、各オーケストラのゲストコンサートマスター、アルゲリッチ国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、やまなみ国際音楽祭等、各地の音楽祭にも積極的に出演。演奏を通じてのボランティア活動にも力を入れている。海外での活動も活発に行っており、2003年、英国の湖水地方で開催されている「夏の音楽祭」に招かれ、リサイタルや室内楽の演奏会で絶賛を博した。2005年、再度、同音楽祭に招かれた他、同じく英国の「ライディール音楽祭」にも招かれ、高い評価を得た。1993年、1994年、広島市長賞「広島フェニックス賞」、広島県教育長賞「メイブル賞」受賞。1998年、広島国際文化財「ヒロシマ・スカラシップ'98」、2000年、第10回広島ホームテレビ文化・スポーツ賞(最年少受賞)、東京芸術大学の福島賞等、受賞多数。2007年、大阪市「咲くやこの花賞」受賞、「広島文化賞」新人賞受賞。2011年、「第21回新日本音楽賞フレッシュアーティスト賞」受賞。2004年9月、大阪フィルハーモニー交響楽団首席客演コンサートマスターに就任、2006年4月から2012年3月まで首席コンサートマスターを務める。これまでに村上直子、小栗まち絵、故・工藤千博、澤和樹、ロバート・マンの各氏に師事。2014年10月より読売日本交響楽団コンサートマスターに就任。

## 猶井悠樹 ヴァイオリン

YUKI NAOI



ドイツ、ボン出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学卒業。国内のコンクールに多数入賞。2007年より度々、若い人のための室内楽勉強会、小澤征爾音楽塾に参加。小澤征爾音楽塾では、コンサートマスターとしてサントリーホール、京都コンサートホールで出演。これまでに、東京・春・音楽祭、サイトウキネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団、アフィニス夏の音楽祭、軽井沢国際音楽祭などに参加。令和元年度文化庁新進芸術家海外研修員として、1年間ライツヴィヒへ留学。研修成果発表として東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共に好評を博す。2022年2月にトッパンホールのランチタイムコンサートにビアニストの兼重稔宏と出演。これまでにヴァイオリンを釋伸司、奥田章子、加藤知子、堀正文、ヘンリック・ホッホシルトに、室内楽を徳永二男、毛利伯郎、原田積夫の各氏等、東京クラウルテットに師事。ソロ・コンサートや室内楽演奏会など、積極的に演奏活動に取り組んでいる。NHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者。

## 鈴木康浩 ヴィオラ

YASUHIRO SUZUKI



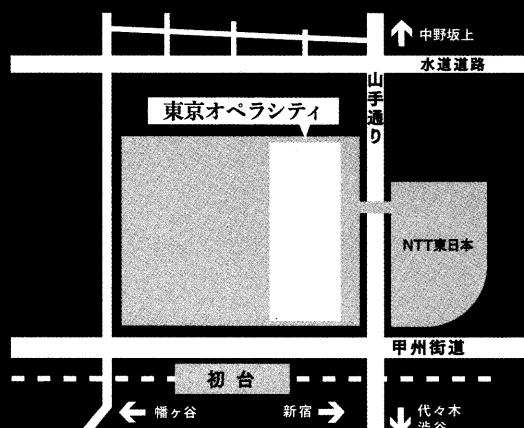
桐朋学園大学卒業。ヴァイオリンを辰巳明子氏、ヴィオラを岡田伸夫氏に師事。第9回クラシックコンクール全国大会ヴァイオラ部門第2位(1位なし)。第12回飯塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで研鑽を積んだ後、ベルリン・フィルの契約演奏員となる。04年に帰国。ソロ活動としてドイツではクラヴィッシュ・フィルハーモニー・ボンのソリストとして、ドイツ7か所のホールで演奏をする。また、日本では各地でリサイタルを行うほか、ラ・フォル・ジュルネや読売日本交響楽団のソリストとして演奏、好評を博す。サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭管弦楽団などで活躍しながら、アンサンブル天下統一、TOKI弦楽四重奏団、王子ホールのランチタイムコンサートなど、室内楽にも力をいれて活動をしている。桐朋学園大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学で講師を務め後進の指導にあたっている。読売日本交響楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。



## 奥泉貴圭 チェロ

TAKAYOSHI OKUIZUMI

札幌出身。東京芸術大学附属音楽高等学校を卒業後、ドイツ・トロッキンゲン音楽大学を経て、2007年より2年間バイエルン国立歌劇場の契約団員として研鑽を積む。1998年札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞、2004年ビバホールチェロコンクール2位、2006年度文化庁在外研修員。その他、国内外数々のコンクールで入賞。2009年に帰国後、2016年まで上野学園大学講師を歴任。ITが育てるアンサンブルシリーズ、小澤征爾氏率いるスイス・インターナショナルアカデミー、小澤征爾音楽塾オーケストラ、サイトウキネン室内楽勉強会、水戸室内管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ、東京春音楽祭、石田組、めざましクラシックスなどに参加。現在はソロ、オーケストラ客演首席、室内楽、レコーディング、TV出演、ライブサポート、高嶋ちさ子 with Super Cellists メンバー、トリオAXIS(弦楽三重奏)・福井ハイモニーホールのレジデントトリオとして国内外各地で活動中。



東京オペラシティタワー B1F 京王新線 初台駅東口下車 徒歩5分  
※東京オペラシティタワー直結